

H21年度県高校総体結果

陸上	三段跳 池田眞次 第6位 (東北大会出場)
	100MH 水田ちづる 第6位 (東北大会出場)
ボート	男子シングルスカル 第1位 佐賀井聡 (東北・全国大会出場)
	男子ダブルスカル 第1位 齋藤勇介・下妻匡哉 (東北・全国大会出場)
	男子舵手付クォドルプル 第2位 土田・山地・後藤・村上・高橋
	女子シングルスカル 第1位 加藤彩 (東北・全国大会出場)
	女子ダブルスカル 第1位 佐藤理紗・斉藤和 (東北・全国大会出場)
	女子舵手付クォドルプル 第3位 佐藤・阿部・加藤・高橋・堀 (東北大会出場)
弓道	三浦可奈子 第6位 (東北大会出場)
	女子団体 ベスト8
卓球	女子団体 ベスト16 女子ダブルス 松浦・小山 ベスト16
ソフトテニス	男子団体 ベスト8 女子個人 後藤・金谷 ベスト12
テニス	女子団体 ベスト16
水泳	100M バタフライ 第6位 日下部亮太 (東北大会出場)
	400M メドレーリレー 第8位 阿部・金子・日下部・佐藤 (賢) (東北大会出場)
	100M バタフライ 第3位 佐藤麻文 (東北大会出場)
	200M バタフライ 第4位 佐藤麻文 (東北大会出場)

EUがあなたの学校にやってくる

ハンガリー大使が講演に来てくださいました

5月8日(木)「EUがあなたの学校にやってくる」事業としてハンガリー大使館よりボハール・エルヌー大使を講師にお迎えし、EUについて、ハンガリーについて、そして日本との交流について、様々な視点から講演をいただきました。

講演に先だち、音楽部合唱班が滝廉太郎の「花」を合唱し、吹奏楽班がベルリオーズの「ハンガリー・マーチ」を演奏して歓迎の気持ちを表しました。

講演後には、同窓会館で茶道部の抹茶のお手前、英語部との交流会が行われ、日本・ハンガリーの交流を持つことができました。



進路研究会 I (学部学科研究)

～山形大学学部研究会～

6月16日(火)、午後の約3時間を使い、2年次生対象の「進路研究会 I - 山形大学学部学科研究会 -」が行われました。山形大学から、全6学部とエンロールメント・マネジメント室から8名の講師の先生方をお迎えし説明をしていただきました。

生徒は事前に学部内容について学習を行い、当日は全体会で山形大学の概要を、その後希望する学部に分かれて説明を受けました。皆、それぞれの想いを胸に真剣に聞いていました。放課後も「大学質問室」を設けて個別相談をしていただきました。多数の生徒が質問に訪れ、講師の先生方は予定時間をオーバーしても丁寧に質問に答えて下さいました。



2年次生のこの時期から大学・学部について知り、大学とどのようなところなのか、何を学ぶのかがより鮮明になり、進路に対する意識も変わったと思います。10月には、山形大学の模擬授業をしていただく進路研究会 II も予定されています。

2年次生のこの時期から大学・学部について知り、大学とどのようなところなのか、何を学ぶのかがより鮮明になり、進路に対する意識も変わったと思います。10月には、山形大学の模擬授業をしていただく進路研究会 II も予定されています。



酒田西高校英語コース事業

English Camp

6月27日(土)～28日(日)に2日間、山形県海浜自然の家(遊佐町)を会場に、英語キャンプが開催されました。参加者は41名の生徒(留学生4名を含む)で、県内10名のALTを中心に英語を使った様々な授業が行われました。工夫を凝らしたALTの指導と彼らの人柄が大変魅力的で、参加した生徒達は時間が経つのも忘れてすっかり活動に夢中になっていました。夜のキャンプファイヤーや Scavenger (ごみ拾い) ハントなどの野外での活動も大自然に囲まれて大変楽しく実施することができました。生徒たちの目は常に輝いており、英語を学ぶことの楽しさ、すばらしさを実感することのできた2日間となりました。



工夫を凝らしたALTの指導と彼らの人柄が大変魅力的で、参加した生徒達は時間が経つのも忘れてすっかり活動に夢中になっていました。夜のキャンプファイヤーや Scavenger (ごみ拾い) ハントなどの野外での活動も大自然に囲まれて大変楽しく実施することができました。生徒たちの目は常に輝いており、英語を学ぶことの楽しさ、すばらしさを実感することのできた2日間となりました。

芸術科研修会

6月11日(木)の6.7校時、1年次生を対象に芸術科研修会が開催されました。年次全体で音楽・美術・書道を一齐に学習することによって、より大きな感動体験を味わい、豊かな心を育むことを目標としており、芸術コースへの興味・関心も膨らむ貴重な機会になりました。

音楽はヴァイオリン演奏家の駒込綾先生、ピアノ伴奏の永田明子先生を迎えヴァイオリンの歴史、演奏法、名曲の生演奏などを取り入れながら講義していただきました。美術は東北芸術工科大学より建築・環境デザイン学科教授、竹内昌義先生を迎え建築・デザイナーの仕事、デザインとは何か、について講話をしていただきました。書道は普段は扱わない布(ハンカチ)に濃い目の墨で文字を書く創作的な作品制作に取り組みました。



音楽 駒込先生からの実技指導！ 美術 映像資料を駆使した講義！ 書道 一回勝負！緊張します

生徒の感想です

音

○ヴァイオリンの音色の美しさに改めて感動しました。ヴァイオリンの歴史、誕生のことが知れてよかったです。駒込先生は1音1音想いを込めて演奏しているのが伝わってきて“これはすごい”と思いました。

楽

○ヴァイオリンとピアノがすごく良い音を響かせていました。CMなどで流れている曲も聴けたし、何より生で聴けてとてもうれしかった。少しか自分の人生観が変わったように思いました。

美

○とても興味深いものでした。建築が芸術であることを話しを聞くまで考えたことがありませんでした。「3R」の話から、芸術の中で私たちは生き、生活の中で芸術はとても大切であると感じました。

術

○自分が将来何をしたいか、また目標に到達するまでのそれ相応の努力の必要性を学びました。将来、やりたいことがまだ明白ではないけど、その日のためにメリハリのある生活を送りたいと思いました。

書

○ハンカチに筆で書くのは初めてで、墨がいつもと違い濃くてすごく難しかったけど、貴重な体験になりました。自分なりに書けたと思うので良かったです。

道

○上手く出来るのか不安だったけど、みんなと協力して、楽しみながら作品を作ることができました。「希望」前向きに生きるという気持ちを込めて輝くイメージで書きました。

Hello!

ヨーロッパからようこそ



6月29日～7月21日の3週間半、イタリア・スロバキア・ラトビアから留学生を迎えることになりました。2年次生文系1・2・3組に一人ずつHRに入ります。この暑さを吹き飛ばすような新しい風をヨーロッパから持ってきてくれました。3人を紹介します。日本の感想を聞きました。

○セレーネ・ソディーニさん [イタリア] (写真中央)

○マルティン・マシクくん [スロバキア] (写真左)

○サビネ マルタ・シエティナさん [ラトビア] (写真右)

3人は2年次を中心に、数学・理科・英語・家庭科・体育・美術・書道の授業、そしてHR・昼食・掃除・部活動などに一緒に参加しています。

英語特別講義

7月1日(水)、本校LL教室にて、英語特別講義が行われました。この講義は、「英語による特別講義を聴き、日本や外国の文化に対する理解を深め、寛容な心と国際的な視野を育てる」を目的に、昨年度から実施されているものです。今年度第1回目の講師は、昨年好評であった、山形大学地域教育文化学部講師のジェリー・ミラー氏をお招きし、「American Customs and Stereotypes」— A Comparison with Modern Day Japan についての講義で、留学生を含めた50名の生徒が参加しました。内容は、日本、アメリカ、それぞれの文化に対する外国人の目から見た考え方で、すべて英語による講義でしたが、ジェリー先生のもともわかりやすい語り口とユーモアで、興味深いものとなりました。なかでも、「日本のすし」についての日本文化を風刺したビデオが抱腹絶倒の内容でした。しかしながら、外国人にこのように日本人は思われていることもあるのかと思うと怖くなってしまふ内容のものでもありました。このような講義を受け、英語に対する興味・関心を広げ、英語の力を身につける努力を継続してほしいと思います。最後に、生徒の英語による謝辞を行い、来年の英語特別講義に期待をし、会を閉じました。この後は、本校英語科教員による英語フォーラムが行われ、今後の英語指導法について熱い議論が交わされました。

本校のホームページアドレス www.sakatanishi-h.ed.jp